

ぐるり30

～自治調査会だより～

2021
9

NO. 096

[発行日]
2021.9.1



【写真提供】大島町 【撮影場所】泉津の切り通し

- ▶シンポジウム開催のお知らせ…………… 2
ひきこもり支援の必要性～多様な生き方を地域で支援する～
- ▶わたげ探偵！！こんなの調べてみました！…………… 4
～ぐるっと多摩探訪 その9～
- ▶オール東京 62 市区町村共同事業
みどり東京・温暖化防止プロジェクト 市町村の取組紹介 …… 6
清瀬市 きよせの環境・川まつり Online
東久留米市 環境保全活動
御蔵島村 御蔵島小中学校校庭芝生再生事業

- ▶多摩交流センターだより
・東京雑学大学2021年10月講義案内…………… 7
- ▶編集後記…………… 7
- ▶多摩・島しょ とっておき歴史発見 ～大島町～…………… 8

Contents

9月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会

シンポジウム開催のお知らせ

2021年

10/19^火

13:30～16:30 (12:30受付開始)

府中市市民活動センター
プラッツ バルトホール東京都府中市宮町1丁目100
ル・シーニュ5階参加
無料

プログラム

手話通訳・要約筆記あり

13:30 主催者挨拶

石坂 丈一 (公財) 東京市町村自治調査会 理事長 (町田市長)

13:35 基調講演

多様な生き方を支えるためのひきこもり支援

中島 修 文京学院大学 人間学部人間福祉学科 教授 博士 (社会福祉学)

14:05 調査研究結果発表

基礎自治体において取り組むべき

ひきこもり支援の内容やその展開方策

齋藤 彬子 (公財) 東京市町村自治調査会 調査部 研究員

14:35 休憩

14:50 パネルディスカッション

コーディネーター

中島 修 文京学院大学 人間学部人間福祉学科 教授 博士 (社会福祉学)

第1部 行政が取り組むひきこもり支援

自治体におけるひきこもり支援

～文京区版ひきこもり総合対策から～

大戸 靖彦 文京区 福祉部 生活福祉課長

第2部 支援団体によるひきこもり支援

ひきこもるリスクを抱えた若者たちの

自立支援システムづくりとその運営

佐藤 洋作 認定特定非営利活動法人 文化学習協同ネットワーク 代表理事

ひきこもりをとらえなおす～当事者とデザインする支援とは～

林 恭子 一般社団法人 ひきこもりUX会議 代表理事

第3部 自治体のひきこもり支援についての意見交換

16:30 閉会

出演者



中島 修



大戸 靖彦



佐藤 洋作



林 恭子

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、中止となる場合があります。 ※マスク着用の上ご来場ください。

主催：公益財団法人 東京市町村自治調査会 (2021年度 調査研究結果発表シンポジウム)

多様な生き方を地域で支援する

ひきこもり支援の必要性

これまで、ひきこもりは個人の問題とされ公的な支援があまり実施されていませんでした。ひきこもりは生産年齢人口の減少に伴う働き手不足や税収減、社会保障費の増加に関わり、基礎自治体にとっても潜在的な課題となっています。ひきこもり状態の住民への支援は、さまざまな世代の孤立防止、地域で元気に暮らす住民の増加につながります。今回、「ひきこもり支援の必要性～多様な生き方を地域で支援する～」をシンポジウムのテーマとし、ひきこもりの実態や実際の支援の取組、課題や今後の方向性などを提示することで、行政が支援に取り組む必要があると理解してもらうことを目的としています。

出演者プロフィール



中島 修 (なかしま おさむ)

文京学院大学 人間学部人間福祉学科 教授 博士(社会福祉学)
 狛江市社会福祉協議会、厚生労働省社会・援護局地域福祉課地域福祉専門官、文京学院大学准教授等を経て、2020年より現職。社会福祉士。東京都ひきこもりに係る支援協議会副会長、豊島区ひきこもりに係る支援協議会会長、埼玉県地域福祉推進委員会委員長等多くの役職を歴任。主な著書、編著「ストーリーで学ぶ地域福祉」有斐閣、編著「コミュニティソーシャルワークの理論と実践」中央法規、共著「地域福祉と包括的支援システム」明石書店など多数。

●講演内容：多様な生き方を支えるためのひきこもり支援



大戸 靖彦 (おおと やすひこ)

文京区 福祉部 生活福祉課長

1986年に文京区役所に入区。職員研修・広聴業務等に従事後、東京二十三区清掃一部事務組合へ派遣。帰任後は区議会事務局の議事業務等に従事。2019年に管理職に昇任後、地域活動センター所長を経て、2019年より現職。2020年4月から、文京区版ひきこもり総合対策「8050問題」の予防から支援までとして、ひきこもり支援センターを設置し、ひきこもりの複合的な課題に一元的に対応できる総合的かつ包括的な多職種連携による相談支援を展開している。

●講演内容：文京区版ひきこもり総合対策におけるひきこもり支援センター活動報告等をご紹介



佐藤 洋作 (さとう ようさく)

認定特定非営利活動法人 文化学習協同ネットワーク 代表理事

東京三多摩地域をフィールドに学習の遅れのある児童への学習支援、不登校の子どものための居場所づくりなどに携わる。1990年代後半からひきこもりの若者のための社会参加プログラムも展開し、2000年に入ってから政府や自治体からの若者支援事業の委託を受けて、「地域若者サポートステーション」を実施するほか、生活困窮世帯の子どもたちの学習支援にも取り組む。これまで、さまざまな青年期教育の講師として活躍している。

●講演内容：義務教育段階から青年期を通じた同行支援、就労支援など多様な支援メニューを紹介



林 恭子 (はやし きょうこ)

一般社団法人 ひきこもりUX会議 代表理事

高校2年生で不登校・20代半ばでひきこもりを経験する。信頼できる精神科医や、同じような経験をした仲間達と出会い少しずつ自分を取り戻す。2012年から「自分たちのことは自分たちで伝えよう」と「当事者発信」を開始し、イベント開催や講演、研修会の講師などの当事者活動をしている。令和元年度東京都女性活躍推進大賞優秀賞受賞。就職氷河期世代支援の推進に向けた全国プラットフォーム議員、東京都ひきこもり支援協議会委員等歴任。

●講演内容：個人の体験談、女性向け支援の必要性、支援のプラットフォーム作りなど

会場案内

府中市市民活動センタープラッツ バルトホール

東京都府中市宮町1丁目100 ル・シーニュ5階

京王線利用の場合 府中駅南口から徒歩1分(駅直結)

JR線利用の場合 南武線、武蔵野線 府中本町駅から徒歩10分

P 駐車場(有料)

駐輪場(有料)



参加申込み方法

申込
締切

10/12 火 必着

先着40名

※当日参加不可

WEB <https://e.try-sky.com/kenkyu/>

FAX 「参加申込用紙」にご記入の上、下記事務局まで

郵送 「参加申込用紙」と同じ項目をご記入の上、下記事務局まで



- 先着順に「参加証」をお送りします(お申込み後、1週間程度で発送)
- 当日、受付にて「参加証」をご提示の上、ご入場ください
- 多摩・島しょ地域自治体職員の方は、各自自治体研修担当を通じてお申込みください

※ご記入いただいた個人情報は適切に管理し、参加可否を通知するための連絡先情報及びご本人確認のための情報として利用させていただきます。ご本人の同意なしにその他の目的で利用・提供はいたしません。

※万が一新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した場合など、必要に応じて保健所等の公的機関へ提出させていただく場合があります。

参加申込用紙

※下記の項目についてご記入ください。 *印は記入必須項目です。
 ※代表者宛に「参加証」をお送りします。異なる住所への送付を希望される場合は、別途お申込みください。

代表者お名前(ふりがな) *

住所 *

〒

お申込み人数 *

人

TEL *

FAX

E-mail

参加申込・
お問合せ

2021年度調査研究結果発表シンポジウム事務局(株式会社トライ内 10:00 ~ 18:00 土日・祝日を除く)

〒113-0021 東京都文京区本駒込3-9-3 TEL.03-3824-7231 FAX.03-3824-7250 E-mail: kenkyu@e.try-sky.com



わたげ探偵!!こんな調べてみました!

～ ぐるっと多摩探訪 その9 ～

◎不定期掲載

多摩・島しょ地域※には、隠れた魅力や知られざる不思議がたくさんあるんだ!

今回も **多摩地域を南から北に歩いてどんなスポットがあるか探してみたいよ♪**

東村山市



志村けんさんの銅像

昨年永眠された志村けんさんを記念する銅像が今年の6月に東村山駅前に建立されたよ。

優しい笑顔で「アイーン」のポーズを決める志村さんに会いに行ってみてね。



淵の森緑地

秋津駅から歩いてすぐの柳瀬川沿いに市民が管理する緑地があるよ。この森で映画監督宮崎駿さんが映画の構想を練ったとか。

市街地に隣接しながら自然を満喫することができるんだ。

東久留米市



水辺を彩るカンナ

東久留米駅から歩いてほど近い落合川沿いは歩道が整備された格好の散歩道だよ。

道中「南沢湧水群」、「氷川神社」、「南沢水辺公園」、「いこいの水辺」など見どころが多いんだ。

写真は水辺で咲き誇るカンナだよ。



竹林公園

落合川沿いに神秘的な雰囲気のある公園があったよ。約6,000㎡の敷地に数えきれないほどの竹が生えているよ。

公園入口から園路を左手に下ると豊富な水量を誇る湧水地もあるんだ。

※ 多摩地域：東京都のうち、23区と島しょ地域を除く全域のこと。

島しょ地域：大島・利島・新島・式根島・神津島・三宅島・御蔵島・八丈島・青ヶ島・父島・母島のこと。

ぐるっと多摩探訪 前回までのあらすじ

多摩地域を街歩きで北上して地域の隠れた魅力を調査しているわたげ探偵、
町田市からスタートし、前号で小平市まで調査しました。
南北街歩きの最終回の今回は東村山市～清瀬市まで
散策をしたようです。
わたげ探偵の街歩きレポートをご覧ください。



清瀬市



みつばちプロジェクト

清瀬市役所の屋上で蜜蜂がせっせと蜜を集めているよ。

都内初の自治体職員による養蜂プロジェクトで、生産したはちみつは市内事業者や都内百貨店とのコラボレーションにより、スイーツなどを商品化して地域活性化につなげているんだって。



中里富士山

東京都指定有形民俗文化財に指定されている立派な富士塚を見つけたよ。

江戸時代後期に築かれた築山で富士信仰に関する石造物が配置されていて実際に登ることができるよ。



病院街通り

清瀬市には多くの病院があり、戦中戦後に結核療養に大きな役割を果たしたんだって。

写真は病院街通りの銘板で多くの病院※が並んでいることがわかるよ。

※現在すべての病院が一般病院に転換されています。



清瀬金山緑地公園のホタル

柳瀬川に面した清瀬金山緑地公園では1990年からホタルが育成されているよ。

公園の中ほどにあるせせらぎは水質浄化の取組が実を結び、例年6月頃にはホタルが飛び交う様子を見ることができるんだって。



◆今回紹介した施設の最新情報は各施設のホームページなどでご確認ください。
◆コロナ禍の影響により開館時間の変更、入館制限、アトラクションの利用制限が発生している可能性があります。
ご利用・ご訪問の前に各施設のホームページなどでご確認ください。



オール東京62市区町村共同事業

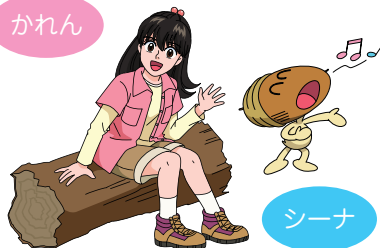
みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村の取組紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。本助成を活用して多摩・島しょ地域の自治体で実施された取組を紹介します。

かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

かれん



シーナ

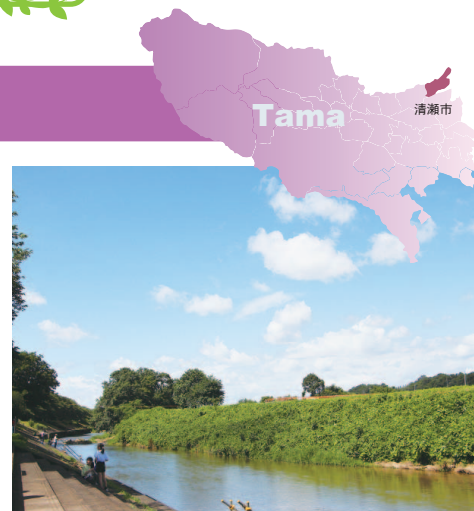
1 清瀬市

きよせの環境・川まつり Online

清瀬市では、市民と行政、事業者等の協働による環境イベントとして毎年7月に柳瀬川・台田運動公園内で「きよせの環境・川まつり」を開催しています。

昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりましたが、今年度は開催の場をWEBへと移し、特設ホームページ上で環境保全に関する取組を行っている団体や、柳瀬川などといった清瀬の自然についての紹介を行い、どこでも気軽に楽しみながら環境保護の大切さについて考えられるイベントを行う予定です。

【問合せ先】 清瀬市 環境課 TEL 042-497-2099

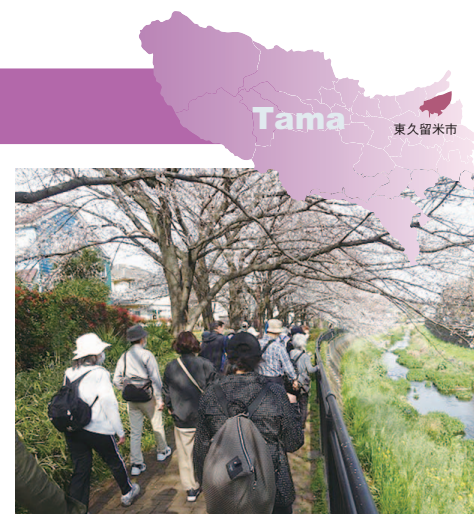


2 東久留米市

環境保全活動

東久留米市では、環境基本計画及び緑の基本計画に基づき、市民・事業者の環境の保全、回復及び創出に関する取組を推進し、市民・事業者とのパートナーシップによる協力体制をつくるため、東久留米市市民環境会議を設置しています。その中の「水とみどりグループ」では、毎年春の桜の開花シーズンと、秋の紅葉シーズンに合わせてウォーキングイベントを開催しています。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から参加人数を制限しましたが、合計30人の参加がありました。

【問合せ先】 東久留米市 環境政策課 TEL 042-470-7753



3 御蔵島村

御蔵島小中学校校庭芝生再生事業

御蔵島村では、傷んだ御蔵島小中学校校庭の芝生の再生、維持・管理に取り組んでいます。

写真は芝刈り前の状態ですが、再生事業を行った部分は雑草もなく、生き生きとしています。

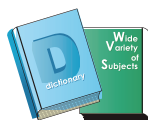
緑豊かな校庭は、学校の児童・生徒たちの授業だけでなく、地域の人々にも遊び場や憩いの場として親しまれています。

【問合せ先】 御蔵島村 総務課 TEL 04994-8-2121





多摩交流センターだより



特定非営利活動法人
東京雑学大学

※受講の際は、必ずマスク着用のこと!

2021年10月講義案内

(受講料: 会員は無料・会員以外は1回につき500円)

日時	講義テーマ	教授	教場
10月7日(木) 14:00から	家庭の予報官になろう 一気象情報の見方・使い方	加納 裕二 氏 (元気象研究所長(気象庁))	武蔵野スイングホール 南棟10階 スカイルーム1 (JR武蔵境駅北口 徒歩1分)
10月14日(木) 14:00から	高尾山の四季(行事)	原 秀誠 氏 (大本山高尾山薬王院参務)	柳沢公民館 (西武新宿線西武柳沢駅南口 徒歩1分)
10月21日(木) 14:00から	人生の転機	田村 彰弘 氏 (日本画家)	武蔵野プレイス 4階 フォーラムB (JR武蔵境駅南口 徒歩1分)
10月31日(日) 14:00から	浮世絵の祖・菱川師宣 ひしかわもろのぶ	あびこ 阿美古 理恵 氏 (国際浮世絵学会事務局)	コール田無 (西武新宿線田無駅北口 徒歩7分)

☆申し込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

[問合せ先] TEL 042-465-3741(浅田) TEL 0422-52-0908(菅原) 東京雑学大学ホームページ <http://t-zd.life.coocan.jp>

※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、10月講義を中止させていただく場合があります。
詳しくは東京雑学大学までお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

「多摩交流センターだより」の問合せ先

(公財) 東京市町村自治調査会 多摩交流センター

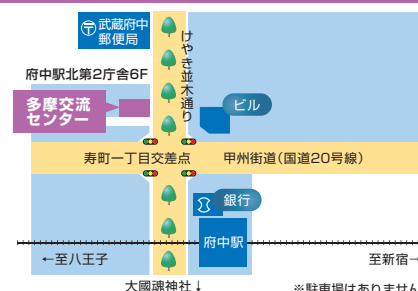
〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <https://www.tama-100.or.jp>

(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆ 多摩交流センターは、広域的なネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



編集後記

○ スポーツの秋がやってきました。しかし、何と言っても今年は五輪の夏でしたね。

紆余曲折の末、緊急事態宣言下で開催された東京オリンピックでしたが、さすがに世界の祭典だけあって、スポーツの持つ素晴らしい力で、数々の勇気と感動を与えてくれました。次いで開かれたパラリンピックも今月5日に終了します。

○ ところで、スポーツの季節が終わると、今度は衆議院議員任期満了を10月に控え、政治の季節を迎えます。

国政は皆さんの生活全般に大きく関わりがあるので、是非こちらにも関心を持って注視していただきたいと思います。

○ さて、2ページのお知らせのとおり、10月19日(火)には府中市市民活動センタープラッツ バルトホールで調査研究結果発表シンポジウムを開催する予定です。

今回は「ひきこもり支援の必要性～多様な生き方を地域で支える～」という題目です。

○ 少子高齢化と人口減少社会が加速する中、80歳の親が50歳の子どもの生活を支える「8050」問題が注目されています。

「ひきこもり」というと、限られたごく少数の個人の問題と捉えている人も多いと思います。しかし、今回のコロナ禍の下では、休業などで半ば社会的・強制的に自宅でひきこもらざるを得なかった疑似体験を経験した人々も少なからずおられたのではないかと推察できます。

○ ひきこもりは個人の「甘え」や「怠け」、「病気」だけを指すものではなく、学校や職場などの社会環境による色々なきっかけで誰にでも起こり得る、人間社会全体がつくり出す多様な問題が体现した状態とも言えます。

疾患や障がいが必要となっている場合もありますが、必ずしもそのようなことを抱えた人だけではありません。生きづらい社会に敏感に警鐘をならす「炭鉱のカナリア」的な存在であるとも言えるのではないかと思います。

○ 生き方や働き方の多様性が求められている現在において、世間体を気にして「勤めに行く」や「就労ありき」だけが選択肢では、社会の多様性は損なわれます。

また、周囲の支援の力できっかけを掴んで自立し、社会と繋がることができたり、さらに進んで社会に役立つ活動を行っている人もいます。

○ シンポジウムでは地域の団体・住民の皆さんに、また、自治体にとっても取組の参考事例や支援へのヒントをたくさんご紹介できるものと考えております。

是非、多数お運びいただけますよう、ご参加をお待ちしております。

まだまだ残暑が続いていますので、体調管理には十分気をつけてお過ごしください。

(M.N)



多摩・島しょ

history of tama & tōsho

とっておき歴史発見

第6回 大島町



身近な場所で歴史を発見！
今回はわたげのボクが「郷土資料館」と「地層大切断面」を紹介するよ。

郷土資料館



「大島の自然を愛し、祖先の残した貴重な文化遺産を少しでも多く残したい。そして後世にも引き継ぎたい。」こんな願いから大島町郷土資料館ができたんだって。

島の風俗、生活の道具、古民家など文化遺産を通じて先人たちが生きてきた姿や歴史を知ることのできる資料が展示されているよ。



地層大切断面



約2万年間に繰り返し起こった大噴火、約100回分の噴出物が巨大な縞模様をつくりあげたんだよ！

この地層は1953年、道路建設工事のため山を削ったときに発見されたものなんだ。

もともと起伏のある地形に沿って噴出物が降り積もったため、大きく波打つ地層ができたんだって。島の噴火の歴史を物語る、まさに島の履歴書だよ。



【現地案内】

◆ 大島へのアクセス

《航路》竹芝桟橋から高速ジェット船で
約1時間45分

竹芝桟橋から大型客船で
約8時間

《空路》調布飛行場から約25分

◆ 郷土資料館

大島バス 大島公園ライン
バス停「郷土資料館入口」下車 徒歩5分

◆ 地層大切断面

大島バス 波浮港ライン
バス停「地層断面前」下車

【情報・写真提供】大島町 観光課振興係 TEL 04992-2-1446



本紙についてのご意見・ご要望は、ホームページの問合せフォームからお寄せください。

問合せフォーム▶



【発行日】2021年9月1日 【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会 【責任者】小暮 実
〒183-0052 東京都府中市新町 2-77-1 東京自治会館 4F TEL 042-382-0068
ホームページ <https://www.tama-100.or.jp> (本紙のバックナンバーをご覧ください。)



再生紙を利用しています